

2009 年度小学校出前授業「楽しいお天気講座」の活動状況

～神戸市総合教育センター理科支援員を中心に～

関西支部（俗称：関西気象予報士会）お天気講座担当支部幹事（発表者：寺野健治）

1. はじめに

昨年の本発表会で報告したように、関西支部支部員（関西気象予報士会会員）が講師として小学校等に出向き、「楽しいお天気講座」を実施している（関西支部、2009）。この講座は、2000年9月から始まったが、今回は2009年の活動を中心に紹介する。

2. 2009年度の特徴

2009年2月に神戸市総合教育センター（以下、教育センター）の主事から寺野支部幹事に電話があった。その内容は、教育センターでは科学技術振興機構（JST）の理科支援員等配置事業の助成を申請しており、これが採択されると、お天気講座もテーマの中に加え、市立の小学校に希望を募りたいとのことであった。これは、これまで関西支部が小学校に直接に案内し、実施していた評判が教育センターの方に伝わっての依頼であった。われわれは、この申し出を喜んで受け入れ、3つのテーマを用意した。その後、採択されたとの返事を受けたので、募集の依頼をした。

教育センターの募集に対して、神戸市立の小学校から多数の申し込みがあった。この中から16校の42クラスに対して、実施することにした。講師としては、寺野幹事だけでは回りがきかず、他に6名の講師（関西支部会員）を加えて、その中から1クラス3名で担当した。授業には、教育センターのコーディネーターが参観された。

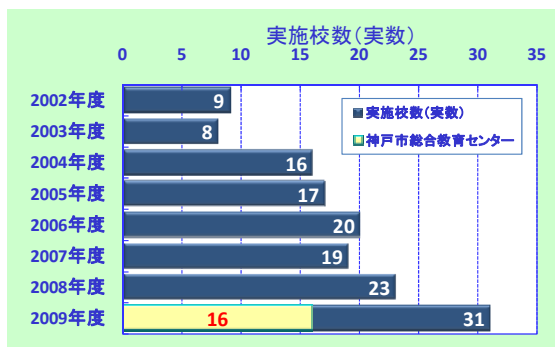


図1 お天気講座の出前授業を実施した学校数（実数）の変遷，2009年度は2009年12月14日現在

3. 授業の内容

当会では、「楽しいお天気講座」として、次のようなテーマを設け、テーマごとにプレゼン用のPowerPoint教材と実験・実習を用意し、学校側の希望により実施している。

- ① 天気予報を学ぼう（90分版）
- ② 天気予報を学ぼう（45分版）
- ③ 台風を学ぼう（45分版）

- ④ 地球温暖化を学ぼう（45分版）

- ⑤ 雪を学ぼう（45分版）

このうち、2009年度に依頼のあったテーマは、①～③であり、教育センターを通して募集したのは、①、③、⑤の3つのテーマで、実施したのは①と③である。

4. 実施状況

当支部が主催して実施した2002年度以降における「楽しいお天気講座」の実施学校数と実施クラス数を図1および図2に示す。これによると、各年度（4月～翌年3月）に実施したクラス数は、年々、増加の傾向にあるが、2009年度は教育センターを通じた申し込みが加わったこともあり、8校、16クラスも増加した。

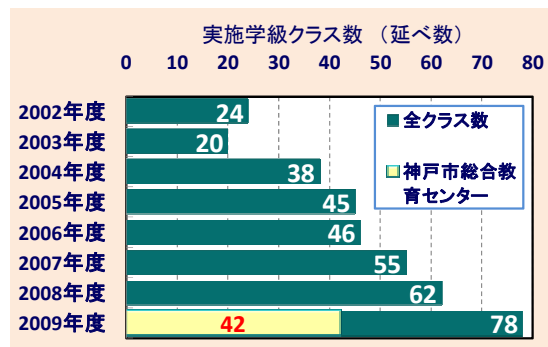


図2 お天気講座の出前授業を実施したクラス数（延べ数）の変遷，2009年度は2009年12月14日現在

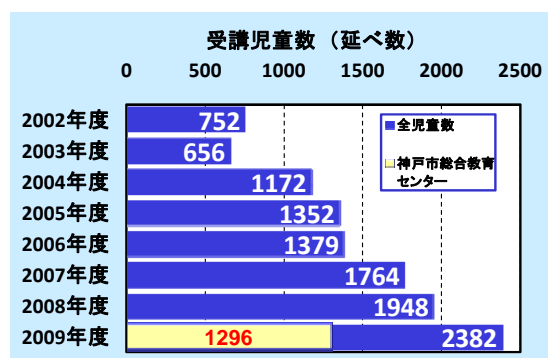


図3 お天気講座の出前授業を実施した児童数（延べ数）の変遷，2009年度は2009年12月14日現在

次に、これらの出前授業を受講した児童数を図3に示す。これも、年々、増加の傾向にあり、2009年度は前年度よりも400人以上増加した。また、2000年開講以来、受講した子どもたちの数は、イベントを合わせると、延べ数で13,000人を超えている。

一方、実施クラス数を月別に分けると、9～11月が圧倒的に多く、2005～2009年度の集計では77%がこの3か月に実施している。これは、小学校理科で、天気について学習するのが5年生2学期に多いことと関係が深い。

5. 出前授業の成果

「楽しいお天気講座」終了後、担任の教諭に依頼して、児童に対してアンケート調査を実施している。その項目は、次のとおりである。

【設問1】 今回の授業は、どうでしたか？（選択方式）

- ① とても楽しかった。
- ② 楽しかった（2008年度までは「少し楽しかった」）。
- ③ あまり楽しなかった。
- ④ 全然楽しなかった。

【設問2】 内容は、どうですか？（選択方式）

- ① とてもわかりやすかった。
- ② わかりやすかった（2008年度までは「少しわかりやすかった」）。
- ③ すこしわかりにくかった。
- ④ 全然わからなかった。

【設問3】 自分の役にたったことやもっとこんなことがやりたかったことなどがあれば、自由に書いてください。（記述方式）

選択方式回答の設問1と設問2について、アンケート結果がほとんど残っている2005年度以降について、年度別集計結果を図4と図5に示す。これによると、設問1で「とても楽しかった」と回答した児童の比率は、2009年度が過去2年間よりも低い。これは、昨年度までは選択肢②が「少し楽しかった」であったのを2009年度は「楽しかった」と変更したため、「とても楽しかった」の回答の一部が「楽しかった」に移ったのではないかと推測される。その根拠としては、この2つの選択肢を合わせた回答者の比率は、2008年度が97.3%、2009年度が97.4%で、ほとんど変わらない。

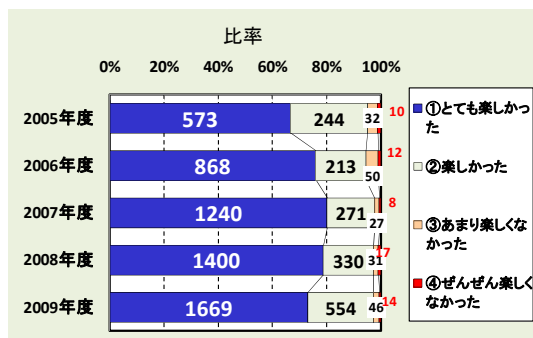


図4 お天気講座の「設問1 今回の授業はどうでしたか？」に対する回答の分布（グラフ中の数値は回答者数）、2009年度は2009年12月14日現在

次に、設問2の内容については、「とてもわかりやすかった」と回答した児童は、2008年度が59.6%で、2009年度が56.9%であり、減少している。しかし、これも「わかりやすかった」を加えると、2008年度が92.7%で、2009年度が93.8%であり、むしろ1.1%上昇している。したがって、これも2番目の選択肢で「少し」を省いたことが影響して

いるものと推察される。

したがって、選択肢①の比率の減少は、児童の評価が下がったことを意味しているとは言い難い。

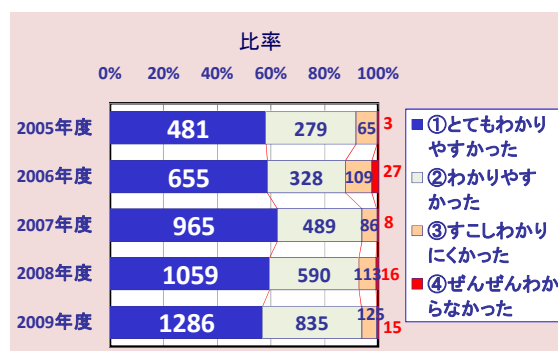


図5 お天気講座の「設問2 内容はどうでしたか？」に対する回答の分布（グラフ中の数値は回答者数）、2009年度は2009年12月14日現在

6. おわりに

2009年度の出前授業は、教育センター関係も含め、すべて9～11月の平日に集中した。このため、各クラス3名の講師の確保が大変であった。また、実験機器を次の小学校へ運ぶためにスケジュールを立てるのにも苦労した。しかし、教育センター関連の授業において、教育の専門家であるコーディネーターの参観のもとに実施し、助言を得たことは、講師にとって何にも代えがたい大きな収穫を得たものと考えられる。

授業を受ける子どもたちは、気象予報士の授業を受けるということで、大きな期待をもって迎えられ、熱心に授業を受けてくれた。この授業を受けたことにより、毎日の天気予報に関心を深めたり、空を注意深く見るようになったりする子どもたちが増えてくれると信じている。

ところで、2009年11月に実施された政府の行政刷新会議による事業仕分けでは、残念ながら「理科支援員等配置事業」は廃止の判定を受けた。授業を受けた子どもたちの生き生きとした姿を思い出しながら、復活されることを祈っている。

謝辞

神戸市立の小学校の出前授業では、神戸市立総合教育センターのコーディネーターの西中晃氏および米満芳人氏に一方ならずお世話になった。ここに、厚く御礼を申し上げます。

また、「楽しいお天気講座」の実施に当たって、2004年11月～2008年10月の4年間にわたって助成を受けた日産科学振興財団に対して、2009年4月からの1年間に支援を受けた（株）神戸製鋼所（コベルコ自然環境保全基金）に対して厚く感謝の意を表します。

参考文献

関西支部（関西気象予報士会）、2009：小学校出前授業「楽しいお天気講座」の活動状況と成果、第1回日本気象予報士会研究成果発表会講演予稿集